

本科 1 期 5 月度

解答

Z会東大進学教室

高 2 選抜東大英語

高 2 東大英語



4章 無生物主語構文

問題

【1】

A.

全訳

1940年代後半のある冬の日、私はりんご果樹園を経営している友人に借りたトラックに乗って、ある実業家が売りに出していた家を見に行くため北へと向かっていた。数日前に降った大雪のために、辺鄙な田舎道に沿って車より高く積み上がった雪の壁ができており、ゆるやかな起伏の丘が時折見える他には何も見えなかった。道路地図もなく、完全に迷ってしまい、やがて私は丘の頂上に出た。そしてそこから下っている時に、坂のふもとに一台の乗用車が停めてあり、白髪の男性が2個の大きな袋を持って出てくるのが目に入った。

B.

全訳

我々の社会は高度に工業化された社会であり、このことが、まったく異なる2つの点で我々の教育問題に影響を及ぼしている。つまり、一方で、このことは大多数の子供たちの家庭環境を決定するが、子供たちの教育においては、こうした家庭環境に目を向けるだけでなく、たとえ、今日の移動の時代の流儀に倣って地域から地域へと移動するとしても、子供たちの大多数は成長すると同じ環境で生活を送ることになるということも考慮しなければならない。他方、この（我々の社会が工業化された社会であること）ために必要とされているのは、子供たちが成長した時、我々の生活が依存している商工業の繁栄を国が維持するのを、子供らが助けるのに適するよう意図された教育を提供することなのである。

【2】

解答

(1) ア a イ c ウ c エ d オ a

(2) 「全訳」の下線部①, ②参照。

解説

(1)

ア「先週発表された調査によると、概ね生徒のうちの（　）がアルコールを使用している。」

a 4分の3 b 半分 c 5分の2 d 3分の1

○ℓ. 8 参照。飲酒しているものは73%。従って約4分の3。

イ「ゲーサーズバーグ高校でインタビューされた15人の生徒は、生徒のうちの（　）が薬物を使用しているか、使用したことがあると見積もっていた。」

○ℓ. 12 参照。half of their peersと述べているから、50%

ウ「インタビューされた15人の生徒によると、調査によって示されたアルコール使用の

割合は（　　）のようである。」

- a 予測したよりも高い
- b 予測したよりも低い
- c 予測した通り
- d 思いがけなく薬物使用の割合と同じ

○第3段落最後の文で agreed, however, with the alcohol use figure と述べているから、
「予測通り」の c が正解。

工 「調査によると、飲酒する生徒は、薬物を使用しているかまたは試したことのある生徒
より（　　）多かった。」

○第2段落参照。飲酒する生徒 (73%) - 薬物を現在使用しているかまたは試したこと
のある生徒 (16%) = 57%

才 「インタビューされた15人の生徒の推測によると、飲酒する生徒は薬物を現在使用し
ているかまたは試したことのある生徒よりも（　　）多いはずだ。」

○第3段落参照。飲酒する生徒 (73%) - 薬物を現在使用しているかまたは試したこと
のある生徒 (50%) = 23%

(2)

ⓐ ◇ About half of those surveyed 「調査を受けた者の約半数」

○ surveyed は those を修飾する過去分詞。 cf. those who were surveyed

◇ drug awareness programs 「薬物を認識させるプログラム」

◇ persuaded them not to … or to ~ 「彼らを説得して…しないよう、または～するよ
うにさせた」

○ persuade O to do 「Oを説得して…させる」(成功したことを含意)

○ 無生物主語構文

ⓑ ◇ They = about half of those surveyed

◇ confirm that ~ 「～ということを確証する」

◇ these programs and the mass media emphasis on the dangers of drugs まで全体が
that 節内の主部になることに注意。

◇ emphasis : 強調 n. cf. emphasize vt.

◇ cause O to do 「Oが…する原因になる」《無生物主語構文》

◇ stay clear of ~ 「～に近づかないでいる」

○ stay C 「Cのままでいる」

○ clear of ~ 「～から離れて；～を避けて」

◇ illegal 「違法の」 ⇔ legal

◇ substance 「①物質 ②実質；内容 ③要旨」

全訳

先週発表された、モンゴメリー郡の公立学校の生徒を対象にした薬物とアルコール使用に
関する調査によると、十代の若者の薬物使用は近年減ってきた。12年生の生徒3,700人を対
象にした調査では、同様の調査が最後に行われた5年前に比べて、薬物の使用は27%減少
したという結果が出た。

その秘密調査は火曜日に教育委員会に提出されたが、薬物とアルコールの体験についての質問に、法律で禁じられている薬物を試したことがあるか、または現在使用中であると答えた生徒はわずか 16% であった。飲酒していると答えた生徒は 73% であった。

しかし、先週ゲーサーズバーグ高校で行われた 15 人の生徒へのインタビューでは、主要な調査結果は支持される傾向にあったが、彼らはまた、学校の調査では薬物使用の程度があまりにも低く見積もられていると思うとも述べた。彼らは 16% という数字に異論を唱え、50% の生徒は薬物を使用しているか、少なくとも使用したことがあると見積もっていた。しかし彼らは、飲酒についての数値については意見が一致した。

その調査によれば、薬物使用の減少はいくぶんかは保健教育カリキュラムの薬物教育課程のおかげだとしている。報告によると、①調査を受けた者の約半数が、こうした薬物を認識させるプログラムのおかげで薬物を使用し始めなくともすんだ、あるいは薬物の使用量を減らすようになったと答えた。②彼らは、これらの教育課程とマスコミが薬物の危険性を強調したおかげで、多くの者が不法な薬物に手を出さずにすんだということを確認した。

注

- ℓ. 1 ◇ decline 「下降する；減少する」
 - ◇ according to ~ 「～によると」
 - ◇ survey 「調査」
- ℓ. 2 ◇ released は a survey を修飾する過去分詞。
 - = a survey ~ *which was released* ...
 - release 「①～を解き放す ②～の公開を正式に許可する；～を公開する」
- ℓ. 3 ◇ twelfth graders 「12 年生（日本の高校 3 年生にあたる）」
 - ◇ indicate that ~ 「～であるということをほのめかす；指し示す」
- ℓ. 4 ◇ (as) compared with ~ 「～と比較すると」
 - ◇ conduct 「～を行う」
- ℓ. 5 ◇ confidential 「①秘密の；内密の ②信用のにおける ③（態度などが）打ち解けた」
- ℓ. 7 ◇ said they had tried or currently use ~
 - currently 「現在のところ」
 - use : 現在の習慣を表すので時制の一貫性が適用されていない。ℓ. 8 の drink, ℓ. 14 の use も同様。
 - ◇ prohibited 「禁止された」
- ℓ. 9 ◇ while ~ 「①～する間 ②～だけれども 《対照の while》」
- ℓ. 10 ◇ tend to do 「…する傾向にある」
 - ◇ primary 「主要な」
 - ◇ conclusion 「結論；結末」
- ℓ. 11 ◇ underestimate 「～を少なく見積もる」 cf. estimate 「～を見積もる」
 - ◇ extent 「範囲；程度」
 - ◇ dispute 「～に反論する；～に異議をさしはさむ」
- ℓ. 12 ◇ figure 「①姿；人物 ②数字」
 - ◇ estimating that ~ 「～ということを見積もって」《付帯状況を表す分詞構文》

ℓ. 13 ◇ agree with ~ 「(人・考え・事) に賛成の意を表す; (人) と意見が一致する」

cf. agree to ~ 「(提案など) に同意〔賛成〕する」

ℓ. 14 ◇ credit A to B 「A (功績; 名誉など) をBに帰する」

◇ in part 「ある程度; いくぶん」 cf. in large part 「大部分」

【3】

A.

ポイント

名詞節を使った英作文にチャレンジしよう。

解答・解説

(1) That Columbus discovered America is well known to everybody.

○ 時制には注意。「知られている」は現在形になる。

○ be (well) known to A 「A に (よく) 知られている」

(2) What is learned in the cradle is carried to the grave.

別解 What we learn in the cradle we carry to the grave.

○ What 節が名詞節になるがこれを主語にして書くと前者、目的語にして書くと後者になる。

(3) I wonder if I should split up with him. He hasn't e-mailed me lately.

○ I wonder if S V 「S が V なのではないかと思う」

○ split up (with A) 「(A と) 別れる」, (e-) mail は動詞でもよく用いる。

B.

ポイント

無生物主語構文を用いて英文を作成していこう。無生物を主語にすることでどんな動詞を用いることになるかを考えて演習しよう。

解答・解説

(1) The Constitution entitles everyone [gives everyone the right] to a fair trial.

○ the Constitution 「憲法」

cf. the Constitution of Japan 「日本国憲法」

the Constitution of the Empire of Japan 「大日本帝国憲法」

○ entitle 「権利を与える」, fair trial 「公平な裁判」

(2) Her inability to understand even simple English surprised me.

(= I was surprised that she was not able to understand even simple English.)

○ She was not able to understand ~. → Her inability to understand ~.

(3) The sea came into my sight as I turned the corner.

○ 「海が私の視界に入ってきた」となる。

○ turn a corner 「角を曲がる」

○ turn (to the) right [make a right turn] 「右に曲がる」

(4) Shyness may make it difficult to improve in [your] English.

○ 「恥ずかしさが英語力向上を困難にするかもしれない」と考える。

○ make O C 「O を C にする」

- improve (yourself) in English 「英語力を向上させる」
- (5) The immaturity of the immune system puts infants at increased risk from [of] infection.
- 「免疫系の未熟さが乳幼児を感染するリスクが高い状態に置く」と考える。



整理しよう

前置詞のマスター2 “at”

解答・解説

- (1) My father wakes up at four o'clock in the morning.
○ 時刻の at。
- (2) My father started his own company at the age of thirty.
○ at the age of A 「A という年齢で」
- (3) He lost his nerve at the last minute.
○ at the last minute 「最後の瞬間で→土壇場で」

[4]

ポイント

英語は日本語より無生物を主語にした文を多く用いると言われている。ここではその基本的なパターンを確認していこう。

解答・解説

- (1) sickness [illness] / prevented [kept ; stopped] / from
○ 「夫が病気だったので妻は演劇に出かけることが出来なかった」→「夫の病気が妻が演劇に出かけることを妨げた」とする。
○ keep [prevent ; stop] A from …ing 「A が…するのを妨げる」
- (2) reminds / of
○ 「この写真を見るときはいつも、学生時代を思い出す。」→「この写真是いつも私に学生時代を思い出させる」とする。
○ remind A of B 「A に B を思い出させる」
- (3) good / make / feel
○ 「もし十分に眠れば気分が良くなるでしょう」→「十分な眠りがあなたの気分を良くする」とする。well は副詞なので good とすることに注意。
○ make A do 「A に～させる」
- (4) made
○ 「なぜあなたは気持ちを変えたのか」→「何があなたの気持ちを変えたのか」と読み換える。= Why did you change your mind? / How come you changed your mind?
- (5) found [saw] / flying
○ 直訳は「翌朝が、彼が太平洋上空を飛行している姿を見出した。」となる。英語では時間などを主語にして find や see を動詞に用いた英文を作ることがあるがこれは1つのパターンとして覚えていく必要がある。和訳するときには O を主語にしていくほうがよい。

つまり「翌朝、彼は太平洋上空を飛行していた。」と訳すことになる。

【5】

ポイント

整序英作文において無生物主語構文が問われる頻度は高い。日本語に惑わされず正確に主語をつかむことが肝要である。

解答・解説

- (1) His love of the band brought him to the concert many times. [went が不要]
○「そのバンドへの愛情が、彼をコンサートへと何回も連れて行った。」と考えればよい。
- (2) His pride did not allow him to do anything disgraceful. [was が不要]
○「彼のプライドは、彼が不名誉なことをすることを許さなかった。」と考える。
- (3) The thick mist kept us from seeing the temple in the distance. [preventing が不要]
○「深い霧が、私たちが遠くの寺を見ることを妨げた。」と考える。
- (4) The incessant pain kept me awake all night long. [I が不要]
○「絶え間ない痛みが、私を一晩中起こし続けた。」と考える。
- (5) Ten minutes' bus ride will take you to the museum. [if が不要]
○「10分間のバスの乗車があなたを博物館へと連れて行くでしょう」と考える。
○take A to B 「A を B に連れて行く」

【6】

ポイント

無生物主語構文は目的語である人を主語にして訳すとよいと言われるが、(1)～(4)では人を主語とする英文として書き換えてみよう。さらに、(5)では時間を主語にして see / find を動詞にする構文を確認しよう。

解答・解説

- (1) Thanks to this magnetic levitation train, we will be able to travel with far greater rapidity.
「このリニアモーターカーのおかげで私たちははるかに速く移動できるようになるだろう。」
- (2) She was so tall that she stood out in a crowd.
「背が高かったので、彼女は群衆の中で目立った。」
- (3) If you adopt advanced technology, you will be free from all this trouble.
「進歩した技術を採用すれば、こういうすべてのトラブルはなくなるだろう。」
- (4) We learn from the Internet instantly what is going on in the world.
「世界で起こっていることは、インターネットから直ちにわかる。」
- (5) The year 1789 saw the French Revolution.
「1789年にフランス革命が起こった。」【4】(5) 参照。

今日の一言

Asking makes one appear foolish, but not asking makes one foolish indeed.

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥。」

make O C の構造で、asking という無生物が主語（非人称主語）である。直訳は「聞くことが人を愚かに見せるが、聞かないことは人を実際に愚かにする」となるが、無生物主語構文は目的語である人を主語にして、無生物主語の部分を副詞的に訳すとうまくいく場合が多い。そのため、この英文も「聞くことにより人は愚かに見えるけれども、聞かなければ本当に愚かになる。」と訳すこともできる。

添削課題

A.

全訳

クレジットカードを持つことによりほとんど現金を持ち歩かなくてすむが、これは人々が身の安全について考える大都市ならではの考慮の結果である。クレジットで買うことによつてまた、支払いを一定の期間に渡つてのばすことが可能になる。もちろん、利子の支払いという費用が付け加えられる。

解説

- ℓ. 1 ◇ Having a credit card 「クレジットカードを持つこと」(主部になる動名詞句)
◇ enable O to do 「Oが…することを可能にする」
◇ a consideration in big cities where people think about security 「人々が身の安全について考える大都市においてならではの考慮」《直訳》
○前文の内容を同格的に説明している部分
- ℓ. 2 ◇ Buying on credit also makes it possible to spread the payments over a period of time 「またクレジットで買うことによって、支払いを一定の期間に渡つて広げるこ
とが可能になる」
○ Buying … : 主部になる動名詞句。
○ on : 手段・方法を表す「～によって」
○ make O C 「OをCにする」
○ it は to … を受ける形式目的語。
○ spread ~ 「～を広げる；引き延ばす」
- ℓ. 3 ◇ the added cost 「付け足された費用」《added は cost を修飾する過去分詞》

B.

全訳

1つの社会として、私たちは、良心のために犯罪を犯さない罪の文化から、捕まることを恐れて犯罪を犯さない恥の文化へと変わってきている。

解説

- ℓ. 1 ◇ as : 前置詞の as 「～として」
◇ we have been changing from a guilt culture, (...) to a shame culture, (...) 「我々は罪の文化から恥の文化へと変化してきている」
○ change from A to B (AからBへ変わる) のつながりを見失わないようとする。
○ カッコ内はそれぞれ a guilt culture と a shame culture に補足説明を加える非制限用法の関係詞節。
◇ a guilt culture, in which our consciences kept us from crime 「良心のために我々が犯罪を犯さない罪の文化」
○ in which = where
○ conscience [ká:nʃəns] 「良心」

- keep A from B 「AにBさせない； AをBから守る」
- ℓ. 2 ◇ a shame culture, in which it is the fear of being caught that keeps us from crime「捕まるという恐れのために我々が犯罪を犯さない恥の文化」
- in which = where
- it is ~ that … で‘～’の部分を強調する強調構文。
- the fear of being caught 「捕まえられるのではないかという恐れ」